

新しい骨密度測定装置を導入致しました

20・・年xxx月より、GE Healthcare製骨密度測定装置を新たに導入致しました。当装置は、従来装置と比べて「検査時間の短縮」と「低被ばく」という特徴を持っており患者様にはこれまでよりさらに安心・安全な測定検査を受けていただけます。



概要

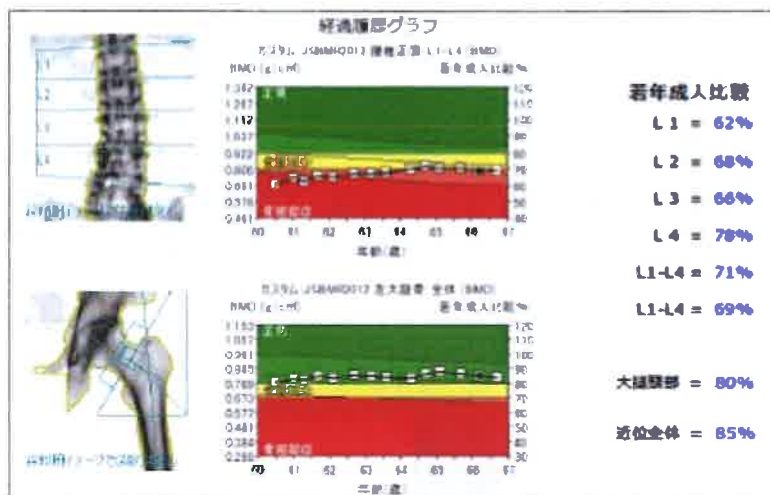
PRODIGY Fuga Compactは、鋭角的なX線ファンビームと検査前のスカウトスキャンが不要な自動骨形状認識測定（スマートスキャン方式）を組み合わせた測定方式のDXA装置です。従来のファンビーム方式に比べ、拡大誤差による誤差がなく、ファンビーム方式と同様な高速測定が可能です。

日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会合同の原発性骨粗鬆症の診断基準（2012年度改訂版 JSBMR2012基準値）に対応しています。

特徴について

この度導入を致しましたPRODIGY Fuga Compactでは学会が推奨する検査部位である、腰椎と大腿骨をポジショニングを変えることなく、測定をすることができるOne Scanという機能がついております。検査時間が長くなる要因となっておりました、ポジショニングにかかる時間が短縮され、患者様が動かずにいる時間の大幅短縮が実現できました。さらに自動解析の精度も非常に高く、測定結果が検査技師の技量に影響を受けずらく、経時的に定量評価を行っていくのに適した装置となっております。

実際の測定結果レポート（一部抜粋）



レポートは患者様にも分かりやすいように、腰椎と大腿骨を一つのレポートにまとめることが可能です。結果も視覚的に非常にわかりやすく、**緑の範囲**が正常、**黄色の範囲**が骨量減少、**赤の範囲**が骨粗鬆症と容易に判断が可能です。

検査の流れ

OneScan

腰椎から大腿骨までポジション変更なしで撮影



検査に要する時間は標準で腰椎が30秒、大腿骨が30秒になります。解析結果は測定終了後すぐに出て参りますので、これにポジショニングの時間を考慮すれば一検査当たり**4分30秒**ほどで全行程を終えることが可能です。One Scan機能と高い自動解析精度は検査時間の短縮を可能に致しました。

最後に

近年、超高齢化が進み大きな社会問題とされており、それに伴い骨粗鬆患者も一層増加していくことが予測されております。当院と致しましては、今後より一層、骨粗しょう症の予防、診断および治療の充実に取り組んでまいります。

骨粗しょう症について

どんな病気なの？

骨がスカスカになってしまう病気です。

骨粗鬆症は、長年の生活習慣などにより骨がスカスカになって弱くなる病気です。骨粗鬆症になっても、最初は何の症状もありますが、そのうち腰や背中が痛くなったり、曲がったりしてきます。ひどくなると骨折を起こして寝たきりの原因にもなります。

寝たきりの原因の第1位が脳卒中、第2位が老衰、第3位が骨粗鬆症による骨折であることから、高齢社会が抱える問題の一つとなっています。

どうなってしまうの？

一番の問題点は骨折しやすくなるということです。とくに負担のかかる大腿骨の骨折が深刻な問題です。

高齢者は、敏しょう性に欠け、骨も老化のためにもろいので骨折しやすいと、誰もが漠然と考えています。

ところが、「ちょっと廊下で滑った」とか「布団につまずいた」といったような、ふつうでは骨折するはずがないような、家庭内のちょっとした事故が骨折の原因の多くを占めている現実はあまり知られていません。

骨粗鬆症では、そこまで骨がもろくなっているのです。

骨が減ってしまう原因とは？

骨は固いので、一度つくられると変化しないようにみえますが、実際は絶えず活発な新陳代謝をしています。身体の細胞と同じで、丈夫でしなやかな骨を保つためには、古い骨を壊し、たえず新しい骨に作り変える必要があるのです。

これを骨代謝といいます。ところが、骨のもとになるカルシウムの摂取が不足したり、身体が老化して骨をつくるためのホルモンが不足してくると、骨をつくる量よりも骨をこわす量のほうが多くなります。こうして骨からカルシウムが徐々に減り、骨がスカスカになっていきます。

早期発見のために

骨粗しょう症が病気として診断されるのは骨密度検診などで問診や骨量測定をしてはじめて・・・という場合が多いようです。他の病気と一番違うのは『自覚症状がない』ことです。骨が痛いということはなく進行していき、何かの拍子に折れてしまうという点が一番やっかいな病気です。

すべての年齢に当てはまることですが、予防に勝る治療はありません。気が付いた時に始めるのが一番です。

半年～1年間の間隔をあけて骨量測定を行えば、実際にその間の自分の骨の変化が分かり「今回も引き続き骨量が減少しているか？」「これまでの生活でだいじょうぶなのか？」を判断することができます。

各年代で骨の状態を把握することで、食生活や、運動などの生活上の注意を行った予防、あるいは早期治療がはじめられます。

骨粗しょう症の検査

定期的に骨の量の検査をしましょう

- ◆当院では最新鋭の骨密度測定装置を設置し、骨がスカスカになる骨粗しょう症の診断及び治療を行なっております。
- ◆検査は、約5～10分以内で行なえ、痛みもありません。

お気軽に当院スタッフまでお申し付けください。

骨量がもともと少ない人や、減り方が激しい人は早く治療することで骨粗しょう症の進行を防ぐことができます。

また、近年では骨粗しょう症を治療する薬も開発されていますので、より早期発見、早期治療が大切です。



腰の骨や大腿骨の骨の骨密度を正確に測定し、今後の治療や対策を考えます。

骨粗しょう症の治療や予防を行います。